

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 4月12日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ(C)貝殻除去装置において、入口圧力計配管から水の漏えい(非放射性)が認められたため、当該配管を交換・修理。 なお、入口圧力計配管の元弁を閉めたことにより水の漏えいは停止。	G III	4月7日
2	1号機	2022年5月に点検期限となる起動変圧器(1SB)の関連機器(活線浄油機、負荷時設定器)の点検にあたっては、原子炉建屋換気空調設備の停止が必要となる。しかし、1号機は原子炉建屋6階ブローアウトパネル(1箇所)に隙間が生じており、原子炉建屋換気空調設備を停止した際に原子炉建屋内の空気が直接外気へ流出することを避けるため、起動変圧器(1SB)の関連機器(活線浄油機、負荷時設定器)の点検を社内マニュアルに基づき点検期限延長の妥当性評価を行い起動変圧器(1SB)本体の点検期限(2023年3月)まで延長。	G III	4月7日
3	1号機	サービス建屋1階防火ダンパー(No.14)の動作確認において、開側、閉側どちらの方向にも動作しないことが認められたため、当該防火ダンパーを交換・修理。 なお、現在は開度40%程度で開いていることからサービス建屋の換気に影響はない。 また、修理を終えるまでの間は、サービス建屋内における火気作業、危険物作業を規制。	G III	4月8日
4	その他	水処理設備ろ過器(B)逆洗空気入口配管において、当該入口配管と他配管の接続箇所から水の漏えい(非放射性)が認められたため、当該入口配管の接続箇所を点検・修理。 なお、当該入口配管につながる弁を全て閉めたことにより水の漏えいは停止。	G III	4月6日